



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム 憩音	階数	3
建設地	神奈川県横浜市区香野町 133-1, 133-3, 134-4, 161-10の一部, 134-5	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	136 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,736 時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年12月3日
敷地面積	5,243 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社シグマ建築企画 杉原健司
建築面積	2,012 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,480 m <sup>2</sup>	確認者	

立面図参照

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84% (153 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 84% (153 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 84% (153 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
敷地内に多くの緑を採用、建物内には光庭・中庭を採用している	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆を全面的に使用	<b>Q2 サービス性能</b> 最低居室面積13.47㎡としている	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 屋上緑化を採用している
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.81	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器の採用	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策ガイドラインのチェックシートをすべて満たしている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

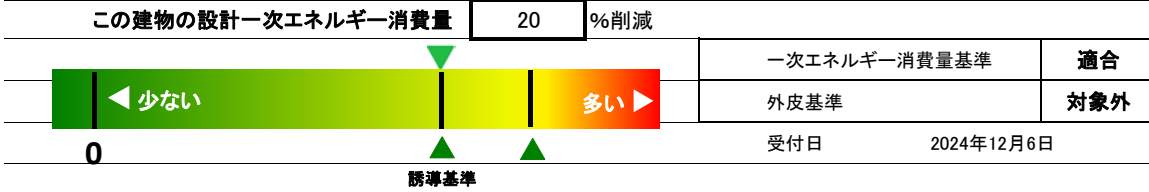


### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)特別養護老人ホーム 憩音

**建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving** 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①BPIm=0.86
- ③2方向以上への開口の確保、中庭・光庭を採用している

**健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community** 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

F☆☆☆☆を全面的に使用しVOCについても放散が極めて少ないものを使用している

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

**防災への配慮 (R) Resilience** 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

外壁に防水型複層仕上塗材を使用  
給水・排水・給湯はB以上を採用

**地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape** 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.2  
(仮称)特別養護老人ホーム 願音

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			-
1		開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			-
1		室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43			-
3		ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			-
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.3</b>
3.1 昼光利用				<b>3.6</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			-
1		昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	4.0	0.60	5.0	0.60			-
2		方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3		昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			-
1		昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			-
3.4 照明制御				<b>1.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25			-
<b>4 空気環境</b>				<b>4.1</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気環境	5.0	1.00	3.0	1.00			-
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.38			-
1		換気量	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.50			-
2		自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	5.0	0.50			-
3		取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気環境	1.0	0.50	-	-			-
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.20	-	-			-
1		CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気環境	5.0	1.00	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
2		高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3		バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	4.0	0.50			-
2		リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3		内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-			<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.6</b>	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				<b>1.8</b>	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.8</b>	0.30	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.3</b>
3.1 空間のゆとり				<b>1.6</b>	0.30	<b>2.4</b>	0.50			-
1		階高のゆとり		2.0	0.60	2.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		1.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				<b>4.0</b>	0.30	<b>5.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.2  
(仮称)特別養護老人ホーム 鷺音

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.3</b>
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-			2.0
2		まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-			2.0
3		地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-			3.0
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-			-
3.2		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	<b>0.40</b>	-	-			<b>3.1</b>
1		建物外皮の熱負荷抑制		4.4	0.20	-	-			4.4
2		自然エネルギー利用		4.0	0.10	-	-			4.0
3		設備システムの高効率化		3.0	0.50	-	-			3.0
4		効率的運用		2.0	0.20	-	-			2.0
		集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-			-
		集合住宅の評価		-	-	-	-			-
	4.1	モニタリング		-	-	-	-			-
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.7</b>
1		水資源保護		3.4	0.20	-	-			3.4
1.1		節水		4.0	0.40	-	-			-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2		非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60	-	-			2.5
2.1		材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-			-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-			-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-			-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-			-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-			-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-			-
3		汚染物質含有材料の使用回避		2.7	0.20	-	-			2.7
3.1		有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-			-
3.2		フロン・ハロンの回避		2.6	0.70	-	-			-
	1	消火剤		2.0	0.33	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.0</b>
1		地球温暖化への配慮		3.6	0.33	-	-			3.6
2		地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-			2.8
2.1		大気汚染防止		3.0	0.25	-	-			-
2.2		温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-			-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-			-
3		周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-			2.7
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	0.50	-	-			-
	2	振動		3.0	0.50	-	-			-
	3	悪臭		-	-	-	-			-
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3		光害の抑制		4.4	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-			-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>										
<b>&lt;事務用途&gt;</b>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>										
<b>健康と安心</b>										
1		化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
2		適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
3		結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-			-